

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年7月28日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年7月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機液体プロセス放射線モニタ記録計の不具合について】</p> <p>当直員が7月22日、23日の定例パトロールにて、6号機液体プロセス放射線モニタ記録計が停止していたことを確認。</p> <p>両日とも記録計の電源を再投入し、動作(記録紙送り・印字)に異常のないことを確認。</p> <p>当該記録計の動作が停止し指示が確認できない場合でも、監視モニタにて指示の確認が可能のため、監視に影響なし。</p> <p>なお、7月24日以降は、当該記録計の停止はない。</p> <p>今後、当該記録計を修理予定。</p>	GⅢ	7月23日
2	<p>【6号機残留熱除去海水系(B)の出口放射線モニタの指示低下について】</p> <p>当直員が中央制御室の定例パトロールにて、6号機残留熱除去海水系(B)の出口放射線モニタの指示低下を確認。</p> <p>当該モニタ検出器設置箇所がタービン建屋地下のトレンチ内であり、環境が悪い(検出器下部に滞留水あり)ため検出器の劣化が進んでいると推定。</p> <p>当該モニタの健全性が確認できるまでは、残留熱除去系(B)は非待機とするが、バックアップ機能が確保できているため、燃料プールの冷却は問題なし。</p> <p>今後、当該モニタ検出器を交換予定。</p>	GⅢ	7月24日
3	<p>【5・6号機車両ゲート通過時におけるバリケードとの接触について】</p> <p>当社社員が、5・6号機車両ゲートを通過する際、警備員が車両ゲートを開いたのを確認し、車両を前進させたところ、バリケードに気づかず車両をバリケードに接触させた。</p> <p>原因は、台風対策によりバリケードを伏せていたことから、目印旗を見逃してしまったと推定。</p> <p>車両からの油漏れ、ケガ人の発生はなし。</p> <p>今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	7月26日